



ちょっと素敵な話  
No.4

この瞬間のため

私たちの法人には、年に一度祭りを開催する事業所がいくつもあります。事業所の利用者さんやご家族だけではなく、地域の方々など誰もがご参加いただける祭りで。

ある年、いつものように祭りの内容を職員みんなで考えていました。

「今年はどんな内容がいいやろう。」

「みんなが楽しめることがいいよね。」

「感動できるようなことはないかな。」

「わくわくするような何かをしたい。」…

そんな話の中、浮かび上がった一つの案が「ドミノ」でした。

三十畳ほどのスペースを使ってどんなことが表現できるのか考えた結果、利用者さんの日々の活動がテーマに決まりました。散歩の公園ゾーンや作業のボルト通しゾーン、昼食のオムライス山、サッカーでシュートを決める！などの構想が固まり、大がかりな仕掛けの作成を開始しました。

利用者さんが帰られた後、ホームセンターで木材を購入し、大工道具で加工をする日々が続きました。一か月半ほどで仕掛けが完成し、いよいよドミノを注文しました。…この時はまだ、期待感だけでいっぱいだったと思います。

数日後、何ケースものドミノが届きました。ケースを開けると中には大量のドミノが入っていました。「これ、全部並べられるの？」という不安がじわじわと湧いてきました。しかし、普段から職員のチームワークは良かったので、「地道にやっつけてばなんとかなるやろ」千里の道も一歩からとの思いで、私たちは小さなドミノを一枚ずつ並べ始めました。

感じていた不安が現実のものとなるのに、時間はかかりませんでした。いくら好調に並べていても最後の最後に倒してしまい、そこに費やした時間が無かったことになってしまうということが何度も起きました。部屋のあちこちで「あゝ…。」という声と同時にカチカチカチとドミノが倒れる音が響きました。

テレビでも見たことのあった大変さを、実際に体験したのです。この頃、職員に企画の時の笑顔はなく、焦りと不安、疲労の表情へと変わっていました。そして、

「やっぱり無理じゃないか？」

「今ならまだ他の企画をしても間に合う。」

「構想を小さくした方が。」…

と消極的な言葉まで出てしまうようになりました。

私たちはいつの間にか、ドミノを並べる人になっていました。何のために始めたのかを見失っていたのです。絶対に成功させなければという思い込みから、みんなプレッシャーを感じていました。

その時ひとりの職員が、「失敗してもいいやん。これだけのことをやってみたけどうまく行かなかったと、胸を張って言えばいい。」と言ったのです。すると不思議と方の力が抜け、「できるところまでやろう！」と誰もがもう一度やる気になりました。

祭り前日、ドミノが完成しました。何とか企画の構想通りに並べることができました。疲れてはいましたが、なんとも心地良い気分でした。ホツとした気持ちで帰宅し、寝る前に翌日の祭りを想像しました。

「利用者さんは楽しんでくれるだろうか…。」

と思った瞬間、「もし今、地震があったり、何かが当たって倒れていたら」という不安が一気に込み上げました。「できることはやっただし、これで倒れても仕方がない。」と言いつけながらも、その夜はほとんど眠れませんでした。

ついに当日を迎えました。昨夜の不安は起こっておらず、きれいに並べられたままの状態でした。祭りが始まり、来場者が続々と入場され、軽食ブースや他のブースを回られています。ドミノの部屋は完全に目隠しをし、来場者の皆さんには、スタートまでの道をつないで参加していただきました。

ドミノ開始の時間になり、職員がゆっくりと間仕切りを開けました。

「わあ〜！」 皆さんから興奮する様子が伝わってきました。

緊張が張りつめる中、最初の一枚を利用者さんに倒していただき、ドミノがスタートしました。カチカチカチカチと小気味よい音を立て、好調に倒れていきました。各ゾーンを通過し、仕掛けが作動するたびに拍手が起りました。

最後の一枚が倒れると歓声が上がリ、ドミノは大成功に終わりました。涙が出ました。大勢の人前で泣いてはいけな〜いと思いつながらにも泣きました。皆さんが楽しんでくださったことへの喜び、やり終えた達成感と安堵感、色んな気持ちでいっぱいでした。「この笑顔」「この瞬間」のために頑張ってきたんだ、大変だったけど、温かい拍手にすべてが報われました。

私はこの仕事をしながら、チームワークって素敵だなあといつも感じていました。それに、自分たちで色んなことを企画して実行する、それが利用者さんの笑顔になる。なんて魅力的な仕事なんだろうと思っています。

ドミノをした祭りから、もう十年が経ちました。今でも当時の感動や皆さんの笑顔は忘れられませんし、今もたくさんさんの感動を体験しています。

だから私、この仕事続けてるんです。

